

作成日：2024年5月17日

自己評価報告書

2023年度

自 2023年4月 1日

至 2024年3月31日

専修学校 厚生労働大臣指定・製菓衛生師養成校
日本菓子専門学校

①教育理念・目標について 適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

担当	評価項目	評価(4段階)	前回値
幹部	①-1 学校の理念・目的・育成人材像は適切であるか	4	4
評価の根拠			
<ul style="list-style-type: none"> ・新年度のミーティングで理念、目的を確認し、それをもとに各職員が職務に取り組んでいる。 ・求人企業からも求人を多数頂いており、評価を得ている。 ・開校以来、「菓子業界の期待に応える人材づくり」を教育理念として、高い意識・技術を持つ専任教師と、オーナーシェフをはじめ第一線で活躍する外部講師が、それぞれの知識と経験をもって菓子作りやパン作りの楽しさややりがい、現場に即したプロ意識、そして人間教育や社会教育までを実践している。 			
課題と今後の改善方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・これからの様々な変化に対応できるように、常に最新の情報を得よう努力し、その時代に合った教育を考える。 ・この業界を目指す者の職業観の変化への対応、製菓技術の向上と共に時代に合った製造方法や技術を考え授業に取り入れる。 ・限られた時間の中であるが、様々な道具の使い方に関しても授業に取り入れる。 			

担当	評価項目	評価(4段階)	前回値
幹部	①-2 学校の職業教育としての特色は適切であるか	4	4
評価の根拠			
<ul style="list-style-type: none"> ・少人数制、材料の選択など職場に通用する経験が出来るように、カリキュラムに取り入れている。 ・製菓技術学科・パティシエ科1班3名、製パン科1班4名での少人数の実習により技術向上を目指す。それにより1人あたりに対する実習製品に触れる頻度は十分である。 ・実習室11室、講義室6室と学校内の教室、設備も充実度している。 			
課題と今後の改善方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・教育理念を崩す事は好ましくないが、時代に適用したカリキュラムを常に考えながら、変えていくところは変えないといく必要がある。 ・少人数制、和洋パン学べる、資格取得などより特色をアピールするように努める。また多様性やSDGsに対応できる教育に務める。 			

担当	評価項目	評価(4段階)	前回値
幹部	①-3 社会経済のニーズ等を踏まえた学校が目指す将来像を抱けているか	3	3
評価の根拠			
<ul style="list-style-type: none"> ・伝統校だからこその変わらないところがある。その為にめまぐるしく変るニーズに対応するのに時間が掛かり、遅れる事がある。 ・有名デパート、エキナカ店舗での製品販売、美術大学との授業コラボ、外部依頼による喫茶でのメニュー考案授業など実施。 			
課題と今後の改善方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・この先100周年を向えていく為、存続させていく為には、スピード感が大切。スピーディーに物事を決めて行けるようにする。 ・業界との情報交換や社会経済ニーズに沿ったカリキュラムを作成していく。 			

担当	評価項目	評価(4段階)	前回値
幹部	①-4 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に十分に周知されているか	3	3
評価の根拠			
<ul style="list-style-type: none"> ・学生についても学生手帳の配布やガイダンスでの説明の他、授業中に周知を行う。保護者には文書を発送する事で連絡、報告をしている。そのため保護者会や入学式・卒業式等保護者の参加率は高くなっている 			
課題と今後の改善方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・理念、目的等は学生にも伝わっているが、学校の将来構想に関してはトップからの明確なビジョンが示されていない為伝わっていない。これを明確に伝える必要がある。 ・HPやSNSなどで学びの様子を発信できるツールの確立。 ・保護者・生徒共により速やかな情報伝達、交換をするためにアプリの導入と活用。 			

担当	評価項目	評価(4段階)	前回値
幹部	①-5 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3	3
評価の根拠			
<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の責任者が、次年度のカリキュラムを組む時。教育目標、新たな取り組みなどを考え、時代にあう要素を取り入れようと努力している。 ・例年の就職内定率の高さから分かるように、各科とも各業界の特性に合わせた内容の授業になっている。 			
課題と今後の改善方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・講師などを含め、業界団体と意見交換して時代に合った育成に努める。 ・業界のニーズが年々多様化しているため、各科の教育目標などを今一度話し合う機会が必要である。 			

総合平均値	前回
3.4	3.4

②学校運営

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

担当	評価項目	評価(4段階)	前回値
幹部	②-1 教育理念に沿った運営方針が策定されているか	4	4
評価の根拠			
<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムが教育理念を基に作成され、実行されている。 ・外部講師による理論、実習授業の充実。 ・就職率100%の実績就職内定率100%という実績。 ・校内教師の授業に加え、外部講師による充実した実習授業。 			
課題と今後の改善方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・流行り、廃りやその時代に合った授業内容を考える。 ・和洋パンの100%の就職率を今後も維持する。 ・生徒達の製菓製パン業界で働くという意識、イメージが以前とは変わってきている中、この業界で働く意義の伝達。 			

担当	評価項目	評価(4段階)	前回値
幹部	②-2 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3	3
評価の根拠			
<ul style="list-style-type: none"> ・すべての物資が高騰する中で、節約、材料の見直しをすることにより授業の質を落とさず、予算を抑えて実施できた。急激な物価高の中、各部署の努力のもと予算を押さえることが出来た。 ・電力抑制も、全職員に周知されており、しっかりと対応出来ている。 			
課題と今後の改善方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画において将来的にどのように存続していく事を目的に策定されているのか、ビジョンを明確にする。 ・更に物価が上がる中、材料の見直しを行い質を落とさない授業に努める。 			

担当	評価項目	評価(4段階)	前回値
幹部	②-3 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化及び有効に機能しているか	3	3
評価の根拠			
<ul style="list-style-type: none"> ・理事、評議会等が行なわれている。 ・階層別会議は月1回で実施しており、連絡事項はそれぞれの会で共有している。 ・決定機能は明確化されている。 			
課題と今後の改善方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・教育局と事務局の連携の更なる強化 ・課題の決定をスピード感をもって進めるように努力する。 ・今まで以上に教務部と事務部の連携を深めて素早くスムーズな組織運営を目指す。 			

担当	評価項目	評価(4段階)	前回値
幹部	②-4 人事、給与に関する規程等は適切に整備されているか	3	2
評価の根拠			
<ul style="list-style-type: none"> ・若手の授業担当。能力による役職の配置など改善されつつある。 ・年功序列、役職なのか、手当の付き方が不明確な部分がある。 ・人事評価制度で実施している。 			
課題と今後の改善方法			
各手当などの充実としっかりとした査定を考える。能力による人事の配置、適正な人事を行いより効率の良い運営を実施する。			

担当	評価項目	評価(4段階)	前回値
幹部	②-5 教務・財務等の組織整備の意思決定システムは整備されているか	3	3
評価の根拠			
<ul style="list-style-type: none"> ・教務では各学年の主任が、ミーティングを行ない(不定期開催) 意志決定、意見交換を行なっている。 			
課題と今後の改善方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・業務の効率化を行い、職員の負担減を目指す。 ・会議内容を精査し、無駄を軽減して、効率よい作業性を考える。 			

担当	評価項目	評価(4段階)	前回値
幹部	②-6 コンプライアンスを守る環境は整備されているか	3	3
評価の根拠			
<ul style="list-style-type: none"> ・職員、学生からトラブルの報告、相談などが特に出していない。 ・現在は問題はないが、以後において第三者による対策組織は必要である。 			
課題と今後の改善方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス対策組織の確立を図る。 ・各自の倫理観の更なる理解。 			

担当	評価項目	評価(4段階)	前回値
幹部	②-7 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	4
評価の根拠			
<ul style="list-style-type: none"> ・職員、学生、保護者にガイダンス資料を配付し、カリキュラム等を知らせている。卒業生には「にっかせん」を発送し活動内容を報告している。 ・学校HPにて財務状況、授業内容等の各種学校情報を公開し、毎年更新を行なっている。 			
課題と今後の改善方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き学校HP、SNS等で発信に努める。 ・学校PR、入学者数増に向けて、より具体的な方向性の提示。 ・現在行われているHP・SNS等での発信をさらに良くして、学校自体の知名度を上げ、入学検討者に対してアピールしていく。 			

担当	評価項目	評価(4段階)	前回値
幹部	②-8 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2	2
評価の根拠			
<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル化の遅れ。効率が悪く負担軽減にならない。新規企画を考えたり、実行する時間が少ない。 ・募集活動においてはクラウド管理ソフトを活用。 ・学籍管理についてはOA室のパソコンでサーバー管理を行なっている。システム化による業務の効率化は思ったほど進んではいない。また、紙の使用量もかなり多いと思われる。 			
課題と今後の改善方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・システムのデジタル化を考える。 ・紙媒体の削減に努める。 			

総合平均値	前回
3.1	3.0

③教育活動

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

担当	評価項目	評価(4段階)	前回値
幹部	③-1 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科が編成されているか（業界の役立つ人材輩出のための学科編成は適切か）	4	4
評価の根拠			
<ul style="list-style-type: none"> ・教育理念を基にカリキュラムが編成されている。 ・製菓学科・パン技術学科ともに就職率100%と企業の信頼も厚い。 ・製菓技術学科においては2年次に和か洋を選択して専門的な技術を学んでいくが、1年次に和・洋・パンと学ぶことで、より広い知識を得る事が出来るよう編成している。 ・1年制のパティシエ技術学科についても年々入学数が増えている。時代に合っている編成ができています。 			
課題と今後の改善方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・各科ごとの内容や特色をより充実させ、業界に多くの役立つ人材を輩出するよう努める。 ・卒業生の活躍などの発信。 			

担当	評価項目	評価(4段階)	前回値
教務	③-2 修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は適切か	4	3
評価の根拠			
<ul style="list-style-type: none"> ・段階的に技術向上が出来る実習カリキュラムが組まれている。前期、後期の試験課題で個人の技術習得の確認ができ、その後の授業へのフィードバックに生かしている。また、合否を設けることによって不合格者には再試験等を通して技術を補足できる流れになっており教育到達レベルはかなり良いと思われる。 ・製菓技術学科は衛生師関係の座学があるにもかかわらず、十分な実習時間を確保している。 			
課題と今後の改善方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・学生の技術習得の差のばらつきが年々増えているため、授業をどのレベルに合わせて行うかの検討の余地がある。 ・現在の実習製品は基礎を学ぶには適した製品だが、見栄えなどの点で劣る製品があり現代の製品に合わせた製品の見直しが必要である。 ・授業を行う教員への指導体制(研修や模擬授業の実施など)の整備を進め、学生への指導に生かす。 			

担当	評価項目	評価(4段階)	前回値
教務	③-3 学科等のカリキュラムは合理的に編成されているか	3	3
評価の根拠			
<ul style="list-style-type: none"> ・製菓衛生師の受験資格、試験対策にそったカリキュラムを編成している。 ・座学講師の方々とも出来る限りの情報を交換しながら適切な授業を構築している。 ・和洋パン、座学ともに万遍なくカリキュラムを組み、ステップアップを図る内容になっている。 ・学科テキスト、配布資料などは各年度で講師、職員で毎年新たにまとめたものを使用している。 ・ゼミナール、経営学基礎論など広い範囲で編成できている。 			
課題と今後の改善方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・座学講師間でのコミュニケーションが必要。講師同士の顔合わせをし、どのように授業を進めているのか、把握できるよう試みる。 ・基礎的な学びは大切であり、今後も継続すべきであるが、応用として最新の技術や素材を取り入れた授業も、推し進めていく必要がある。 ・今後も講師、職員で相談しながら、授業で反映できるように心がける。 			

担当	評価項目	評価(4段階)	前回値
教務	③-4 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3	3
評価の根拠			
<ul style="list-style-type: none"> ・基礎技術を身に着ける実習カリキュラムは確立されている。しかし、新しいことに挑戦しカリキュラムとして成立させていく意欲と行動に欠けると思われる。 ・2学年やパン科では、企業からの依頼や交流(歌舞伎座とのスイーツコラボ、玉川高島屋での販売)や他校との交流(多摩美術大学との交流)により、通常の座学、実習とは違った視点での学びの場を設けている。 ・パン科では毎年卒業生による授業を実践し、経験談などを盛り込んだ授業を行っている。 ・材料の比較、実験的な授業を取り入れ、材料の特徴をさらに理解する様に考えている。 			
課題と今後の改善方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの立場の職員が、意見を言い合える環境を作る。新しいことに挑戦できるように業務効率を改善する。 ・製品の製造・販売を校内で一貫して行う授業を行い、より実践的な学びの場を学生に提供できると共に、学校のアピールにも繋げる。 ・まず初めに職員による製造販売を小規模に行い、徐々に授業に組み込む。 ・入学希望者が学校選びに魅力を感じる分かりやすい内容のカリキュラム編成を考える。(外部販売、企業とのコラボなど) 			

担当	評価項目	評価(4段階)	前回値
教務	③-5 教育を行う上で教務・財務等の組織整備の意思決定システムは整備されているか	3	3
評価の根拠			
<ul style="list-style-type: none"> ・組織図が掲示され責任者が中心に動いている。 ・ミーティングでの材料費、光熱費高騰の確認が出来ている。 ・発注量、材料の無駄などを常に考え、昨年度と比較し削減できている。 			
課題と今後の改善方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・新しい試みやプロジェクトのアイデアを出し、進める職員が限定的で、仕事量が集中しているように感じる。 ・担当者だけでなく、職員全体として情報共有を密にし、連携を図る必要がある。 ・各科ごとへの、機器や備品などの具体的予算額の提示。 			

担当	評価項目	評価(4段階)	前回値
教務	③-6 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3	3
評価の根拠			
<ul style="list-style-type: none"> ・関連分野、企業などに材料学、経営学などの授業を依頼しカリキュラムを編成している。 ・高島屋、ライズなどでの製品販売の実施。 ・関連企業とのコラボは以前よりは徐々に取入れられている。 			
課題と今後の改善方法			
<p>今後、より関連企業とのコラボを実施し、実績を重ね「業界が創った学校」をさらにアピールする。今後も更に関連企業との連携を進め、情報収集に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・難しいため、新しく業界、企業との間で商品提案、情報共有をする部署の設立。 ・製品や販売形態を、過去の実績を踏まえて常に見直ししていく。 ・今後も更に関連企業との連携を進め、情報収集に努め、カリキュラムを作成していく。 			

担当	評価項目	評価(4段階)	前回値
幹部	③-7 授業評価の実施・評価体制はあるか	3	3
評価の根拠			
年度末に学生に向けて修学アンケートを配布して回答を行なった。「授業の教え方、進め方について満足している」はあてはまる・ややあてはまるを合わせて90%であった。			
課題と今後の改善方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・学生アンケートを集計し、その結果を生かせるよう努力する。 ・講師、卒業生などの意見も取り入れ進めていく。 			

担当	評価項目	評価(4段階)	前回値
幹部	③-8 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3	4
評価の根拠			
<ul style="list-style-type: none"> ・理事、評議員会において報告、チェックはされている。 ・毎年学校関係者評価を行い、本結果を評価していただいている。また、理事会や評議会などでもご意見を頂いており、外部講師、業界関係者から高い評価をいただいている。 			
課題と今後の改善方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師、業界関係者との相談場を増やし、よりご意見を頂き改善していく。 			

担当	評価項目	評価(4段階)	前回値
教務	③-9 資格取得等に関する指導体制は十分であるか	4	3
評価の根拠			
<ul style="list-style-type: none"> ・製菓衛生師試験のためのカリキュラムにより、合格率は高水準を保っている。 ・在学中に製菓技術学科は製菓衛生師の受験、製パン技術学科は食品衛生責任者の取得を行う。 			
課題と今後の改善方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の傾向を確認しながら、その年にあった指導方法を構築していく。 ・菓子製造技能士、パン製造技能士のための講習会(技術指導料の徴収あり)を一般、もしくは企業向けに実施の提案。 ・過去の試験データをもとに授業を進め、今後の試験問題の変化に対応するように心がける。 			

担当	評価項目	評価(4段階)	前回値
幹部	③-10 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	2	3
評価の根拠			
<ul style="list-style-type: none"> ・やや人員不足であり、教職員人数に余裕がない。 ・ホテルや個人店での菓子製造経験及び製菓衛生師の資格を持っている教師により、現場等で培った技術に基づいて内容も含め授業を行なっている。 			
課題と今後の改善方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・今後さらに中間、若手職員の研修などの勉強の機会を増やす。 			

担当	評価項目	評価(4段階)	前回値
幹部	③-11 業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどの経営が行われているか	2	2
評価の根拠			
<ul style="list-style-type: none"> ・やや人員不足であり、教職員人数に余裕がない。 			
課題と今後の改善方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・教員確保(中途採用) の為に給与の見直しの検討。 ・優れた人材を確保するための条件の見直し。 			

担当	評価項目	評価(4段階)	前回値
幹部	③-12 先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3	3
評価の根拠			
<ul style="list-style-type: none"> ・人数がギリギリで業務を行なっているため、外部講習会などに参加させる余裕が無い ・コンテスト参加や勉強会のためのサポートの実施コンクール参加。 ・講習会参加。さらに、長期休暇時の現場研修の参加。 			
課題と今後の改善方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・職員の外部講習の参加などもっと積極的に行ない、上司も講習会などの情報を仕入れて部下に促すべき。 ・これからの学生への接し方、コンプライアンスの研修等の導入 ・引続き中堅、若手職員の資質向上の為の取り組みを進める。 			

総合平均値	前回
3.1	3.1

④学修成果

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

担当	評価項目	評価(4段階)	前回値
教務	④-1 就職率の向上が図られているか	4	4
評価の根拠			
<ul style="list-style-type: none"> ・就職率は100%である。 ・就職希望者の就職率は、高水準を保っている。 ・本人、保護者とも納得のいく就職活動を進めている。 ・就職企業への会社見学、会社説明会を経て、本人と保護者の意思確認後、進めている。 			
課題と今後の改善方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・学生が数年続けられる企業に就職できるように、従来通り個人面接をしながら進路担当の職員と進めていく。 ・就職先企業との良好な関係性を保つためにも、学生への教育、指導をより充実し、より良い人材を育てる。 ・学生の職業観も常に変化しているため、進路指導担当者も常に対応できるようにリサーチする。 			

担当	評価項目	評価(4段階)	前回値
教務	④-2 資格取得率の向上が図られているか	4	4
評価の根拠			
<ul style="list-style-type: none"> ・製菓衛生師、技能検定などの合格率は上がっている。 ・ハイテクニカル科の2級菓子製造技能士の合格率は非常に高い。また、職員の技能士取得率も高水準である。 ・製菓衛生師取得率は常に高水準である。 			
課題と今後の改善方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の傾向を確認しながら、その年にあった指導方法を構築していく。 ・いかなる価値観の学生にも対応できるように考え行動する。 			

担当	評価項目	評価(4段階)	前回値
教務	④-3 退学率の低減が図られているか	3	3
評価の根拠			
<ul style="list-style-type: none"> ・最終的に判断するのは本人である為、対策は難しい。 ・進路変更などの退学はあるが、出席率などによる退学は職員のサポートなども含めて適切に対処できている。 ・個別相談により、出来る限り対処している。 			
課題と今後の改善方法			
継続した個別相談や、相談窓口の開設など。			

担当	評価項目	評価(4段階)	前回値
教務	④-5 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	3
評価の根拠			
<ul style="list-style-type: none"> ・業界誌、コンテスト、個人的な付き合いの継続などで把握をしている。 ・ホームページ上での卒業生紹介などによるアピールや、玉川高島屋での販売において卒業生も関連付けて出店してもらうなど、連携を図っている。 ・同窓会等で情報交換をし、取材を行うよう努力している。 			
課題と今後の改善方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・卒業生が自身の動向を報告できる書き込み欄をホームページ上に作る。 ・常にアンテナをはり、情報を集めるよう努める。 			

総合平均値	前回
3.5	3.5

⑤学生支援

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

担当	評価項目	評価(4段階)	前回値
教務	⑤-1 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	4
評価の根拠			
<ul style="list-style-type: none"> ・慢性的な人手不足の影響もあるが、例年就職率は100%である。 ・就職担当職員を中心に、学生からの相談に応じている。 ・例年、多くの企業より求人票を頂いている。 			
課題と今後の改善方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・学生が数年続けられる企業に就職できるように、従来通り個人面接をしながら進路担当の職員と進めていく。 			

担当	評価項目	評価(4段階)	前回値
教務	⑤-2 学生相談に関する体制は整備されているか	4	4
評価の根拠			
<ul style="list-style-type: none"> ・個人面接、保護者会などコミュニケーションをとれる機会がある。普段の授業を通して、学生が気軽に相談できる環境、雰囲気になっている。 ・教務職員による個別面談を設けている。 ・クラス担任制により、個々の学生を理解出来る体制になっている。 			
課題と今後の改善方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・学生の相談内容によっては保護者ともコミュニケーションをとり3者で進めていけるよう考える。 			

担当	評価項目	評価(4段階)	前回値
事務	⑤-3 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3	3
評価の根拠			
<ul style="list-style-type: none"> ・高等教育の修学支援制度や貸与の奨学金制度など、現在の学校教育について最低限の制度は導入がされているので学生も入学しやすい仕組みができています。 ・分納制度や就学支援制度以外にも学校独自の奨学金などを設けている。 ・高等教育の修学支援新制度や奨学金などの制度について学生課の理解が深く学生に的確にアドバイスができています。 			
課題と今後の改善方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・奨学金等の周知が保護者まで行き渡っていないため、より制度を知っていただき、入学前、入学後のサポートを強める。 ・地方から出てくる学生への支援。学生寮への補助や、遠方から通う学生への補助など。 ・現在行っている制度を永続的に続けられる様努める。 			

担当	評価項目	評価(4段階)	前回値
教務	⑤-4 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3	3
評価の根拠			
<ul style="list-style-type: none"> ・個人面接、授業中などで体調の変化を意識しながら接している。 ・救急病院を把握し、救急に対処できるように整えている。 ・欠席連絡者には常に担任が対応する。 			
課題と今後の改善方法			
授業時の如何なる事故にも対応できるよう、講習受講の実施。(救急の対応など) 精神面のケアなども行えるようにカウンセラーの導入など。			

担当	評価項目	評価(4段階)	前回値
教務	⑤-5 課外活動に対する支援体制は整備されているか	3	3
評価の根拠			
親睦を深める行事などもカリキュラムに編成しており、授業内での課外活動及び希望する学生による部活動など本年度はコロナ禍のため自粛であったが、支援体制は整っている。部活動希望者には部活動費の補助があり、支援体制は充実している。			
課題と今後の改善方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・課外授業、部活動時の事故対応のマニュアルの再確認。課外活動時の学生の行動が把握できるよう対応する。 ・運動部だけでなく、校内にある設備を使った部活動の実施。 			

担当	評価項目	評価(4段階)	前回値
教務	⑤-6 学生の生活環境への支援は行われているか	4	3
評価の根拠			
<ul style="list-style-type: none"> ・通学時間、体調、持病などの有無を面接で把握している。 ・欠席の多い学生には指導し欠席超過にならないように努めている。 ・無償化制度、奨学金、給付金など学費面でのサポートもある。 ・食費支援として、学食食券の全学生への配布。 ・全学生への保険加入により支援。 ・災害物資の備蓄、災害時備品の備え(止水板、水囊など) 			
課題と今後の改善方法			
・継続・補助金制度を活用して、学校備品の更なる購入。			

担当	評価項目	評価(4段階)	前回値
教務	⑤-7 保護者と適切に連携しているか	4	4
評価の根拠			
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会を実施している。 ・問題や怪我、事故などが有った場合も直ぐに連絡が取れるように緊急連絡先を把握している。 ・欠席時間に依りて注意書、同意書を発行、発送し、情報共有を図っている。 ・年に1度だが保護者会及び授業参観を開催し、来校し授業の様子を見学して頂く。 ・より学校を知って頂けるよう、年に5～6回様々な資料を同封し、保護者宛に文章を発送する。 			
課題と今後の改善方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・仕事されている保護者も多い為、電話連絡は基本とするがメールなどでの発信も必要。 ・保護者への連絡方法として、郵便でのやり取りを必要最小限にし、メールなど活用して更にリア 			

担当	評価項目	評価(4段階)	前回値
教務	⑤-8 卒業生への支援体制はあるか	3	3
評価の根拠			
<ul style="list-style-type: none"> ・中途採用企業の紹介などを行っている。 ・同窓会を通じて、講習会や同期会などの企画運営を行っている。 			
課題と今後の改善方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・卒業生専用のホームページ相談窓口の開設。 ・卒業生の現状把握方法の確立。 			

担当	評価項目	評価(4段階)	前回値
教務	⑤-9 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3	3
評価の根拠			
<ul style="list-style-type: none"> ・環境面では、デジタル化、SNSの活用などが遅れている。 ・一般の方、主婦、製菓業に従事されている方など製菓製パン通信教育課程を開校している。 ・通信教育部には社会人の在籍者が多く、欠席した授業の振替日を設けるなど、卒業から修了までの支援を行っている。 ・卒業生、求人企業に対して定期的に講習会、研修を実施している。 			
課題と今後の改善方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・講習会、研修内容のさらなる充実を考える。 			

担当	評価項目	評価(4段階)	前回値
教務	⑤-10 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	4
評価の根拠			
<ul style="list-style-type: none"> ・依頼のあった高校への出前授業や説明会の実施など、業界への関心を高めてもらうための活動を行っている。 ・高校への市民講師授業2校(各校5～8回)、教師派遣授業私立大学1校(7回)、ものづくりマイスター派遣1校、高校教師派遣授業7校、高校教諭対象の和、洋、パン体験授業2日間など実施している。 			
課題と今後の改善方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・教師派遣授業実施の各高校への周知。 ・高校のみならず中学校、小学校への派遣授業の実施。 ・学校の施設を使用しての派遣授業の実施拡大を図る。 			

総合平均値	前回
3.5	3.4

⑥教育環境

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

担当	評価項目	評価(4段階)	前回値
事務	⑥-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3	2
評価の根拠			
<ul style="list-style-type: none"> 施設設備は法令に基づいた点検を実施している。就職先にあたりまえにある設備がそろえられるようにし、故障、劣化下もに関しては速やかに対処を行っている。 			
課題と今後の改善方法			
<ul style="list-style-type: none"> 奨学金等の周知が保護者まで行き渡っていないため、より制度を知っていただき、入学前、入学後のサポートを強める。 地方から出てくる学生への支援。学生寮への補助や、遠方から通う学生への補助など。 現在行っている制度を永続的に続けられる様努める。 			

担当	評価項目	評価(4段階)	前回値
教務	⑥-2 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3	3
評価の根拠			
<ul style="list-style-type: none"> 製菓、製パン共にドイツ、フランスに姉妹提携している学校がある。 希望者へのホテルインターンシップの斡旋を行っている。また、パティシエ科は紅茶セミナーやUCCカフェセミナーでの講習をカリキュラムに組み込んでいる。 実習室11室、講義室6室と学校内の教室があり設備は充実している。 			
課題と今後の改善方法			
<ul style="list-style-type: none"> フランスの姉妹校との交流を図る。 UCCでのカフェセミナーやTEEJの紅茶セミナーへ、製菓技術学科や製パン科など、パティシエ科以外にも希望者に斡旋してもよいのではないかな。 時代に合わせて、今後徐々に体制を整える。 教室数、設備は充実しているが老朽化した建物の改築が急務である。 			

担当	評価項目	評価(4段階)	前回値
幹部	⑥-3 計画的な避難計画の整備はされているか	3	3
評価の根拠			
<ul style="list-style-type: none"> 避難計画は整備され、職員及び学生に周知できている。防災備品の備蓄確保も問題なくされている。年1回の避難訓練の実施で消防署より高い評価を得ている。 			
課題と今後の改善方法			
<ul style="list-style-type: none"> 職員、学生への防災に対する意識の確認。 防災設備、備品、放送機器の整備、点検等の再確認。 			

担当	評価項目	評価(4段階)	前回値
事務	⑥-4 防災に対する体制は整備されているか	3	3
評価の根拠			
<ul style="list-style-type: none"> 備蓄や避難訓練などの最低限の体制は整備されている。 毎年、消防署を招いての避難訓練を行っている。また、耐震についても補強済みであり、各教室等各々防災担当者を決め、防災体制を構築している。 			
課題と今後の改善方法			
<ul style="list-style-type: none"> 防災以外の災害についての避難マニュアルや避難場所の確認、防災設備の更新。地域との連携等防災訓練の多様化等。 			

総合平均値	前回
3.0	2.8

⑦学生の受け入れ募集 適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

担当	評価項目	評価(4段階)	前回値
事務	⑦-1 学生募集活動は、適正に行われているか	4	4
評価の根拠			
<ul style="list-style-type: none"> ・従来のオープンキャンパスや校内説明会、進学相談会、高校訪問に加え、オンラインによる説明会も実施。その結果、前年度より学生増加に繋がった。 ・強引な勧誘や先生や親を通さず入試を受けさせていない。 ・告知等に偽りはなく、過大表現、数値のレビューを行っている。 ・強引な入学への勧誘やしつこいアポ取り等はしていない。 			
課題と今後の改善方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・入学検討者に情報収集の機会を更に増やし、募集活動に努める。 			

担当	評価項目	評価(4段階)	前回値
事務	⑦-2 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3	3
評価の根拠			
<ul style="list-style-type: none"> ・就職状況や外部との取組などまだまだ詳細を出せていない箇所もあるが、学校特徴などはよく伝えられている。 ・学科、実習割合や実習時間等正確な数字を示している。 			
課題と今後の改善方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・学科、実習割合や実習時間等正確な数字を示している。概ね教育成果は伝えられていると思うが、より多くの方々に伝えられる様更なる努力も必要。 ・HP、SNSの更新といった状況を表に出す活動を増やす。 			

担当	評価項目	評価(4段階)	前回値
事務	⑦-3 学納金は妥当なものとなっているか	4	3
評価の根拠			
<ul style="list-style-type: none"> ・菓子業界が設立した学校の使命として、手頃な金額設定であり、それに見合った教育内容を実践している。 			
課題と今後の改善方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・今後も学納金と教育内容がマッチした教育内容が実施できる様努める。 ・材料費の高騰や実習時間など現状にあった学費に見直す必要がある。 			

総合平均値	前回
3.7	3.3

⑧法令等の遵守 適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

担当	評価項目	評価(4段階)	前回値
事務	⑧-1 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	4
評価の根拠			
法令に遵守し、適正に運営している。			
課題と今後の改善方法			
引き続き法令に遵守し、運営を続ける。			

担当	評価項目	評価(4段階)	前回値
事務	⑧-2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3	2
評価の根拠			
・個人情報保護に関して、学生募集ではクラウド管理で使用者を限定しており、使用目的意外には利用しないよう徹底をしている。			
課題と今後の改善方法			
・在席管理システムの導入。紙媒体の廃止。			

担当	評価項目	評価(4段階)	前回値
事務	⑧-3 行政等監督官庁への届け出は適切に行われているか	4	3
評価の根拠			
・届け出は適切に行われている。			
課題と今後の改善方法			
フローチャート等による職員の入れ替わりに対応できる体制の構築。			

総合平均値	前回
3.7	3.0

⑨国際交流

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

担当	評価項目	評価(4段階)	前回値
事務	⑨-1 留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	3	3
評価の根拠			
<ul style="list-style-type: none"> ・来校してくれている人に対するアプローチのみ。また、日本で就職を希望している学生の就職先での受け入れが、個人の力量になってしまう。 ・在学中だけでなく、卒業後までを見据えた受入体制の整備。 			
課題と今後の改善方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・就職企業との連携をとり、就職企業数の増加を実施していくことが必要。 ・在学中だけでなく、卒業後までを見据えた受入体制の整備。在学中だけでなく、卒業後までを見据えた受入体制の整備。 			

担当	評価項目	評価(4段階)	前回値
事務	⑨-2 留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4	4
評価の根拠			
<ul style="list-style-type: none"> ・国外からの直接入国も本格化したが無事受け入れができており、在留期間切れなども起こさず手続きを行えている。 ・在留管理等は、法令に遵守し適切に行われている。出入国在留管理局からも「適正校」として認定を受けている。 			
課題と今後の改善方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、法令に遵守し適切に行う。頻繁に変わる制度の情報収集を強化する。 			

担当	評価項目	評価(4段階)	前回値
事務	⑨-3 留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4	4
評価の根拠			
<ul style="list-style-type: none"> ・留学生の教育および生活指導の一環として「留学生会」を定期的に行い、把握に努めている。 ・対訳本の配布などで専門用語についてもフォローをしている。 			
課題と今後の改善方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・相談窓口の開設等、何かあればすぐに相談できる体制の構築。 			

担当	評価項目	評価(4段階)	前回値
事務	⑨-4 学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	2	2
評価の根拠			
<p>教師派遣により、福島産の桃を使ったデザート講習会など取り組みを行っているが、まだ数が少数である。</p>			
課題と今後の改善方法			
<p>卒業して帰国した留学生について追いかけることをしていないため。受け身な状況が多い。講習会などを実施しても実施した実績などを公表していない部分は改善していくべき。</p>			

総合平均値	前回
3.3	3.25